年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（2学年用）教科　　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　１～５ 組

教科担当者：（　向出聡　）

使用教科書：（ 図説　家庭基礎（実教出版））

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な家庭科の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力を伸ばし，他者との関わりの中で判断力を高め，自分の思いや考えを表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】実生活における必要な知識を然りと身に着け、更にそれらを豊かな生活を生かした人間性を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な家庭科の知識や技能を身に付ける。	論理的に考える力を伸ばし，他者との関わりの中で判断力を高め，自分の思いや考えを表現できるようにする。	実生活における必要な知識を然りと身に着け、更にそれらを豊かな生活を生かした人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ガイダンス	１年間の流れと授業のルール、目標を理解する。		○	○	○	1
	自分らしい生き方と家族	今の自分を見つめなおし、青年期の生き方と男女のあり方を考える。	男女間のさまざまな社会的な違いをきちんと理解できているか	○	○	○	4
	衣生活をつくる	被服の機能を理解するとともに、被服の問題を分析し、対策を考える。	衣類の機能や役割をきちんと理解できているか	○	○	○	2
	被服実習	エプロンの制作を通して、衣服の作り方、ミシンの使い方、その他道具の使い方を身につける。	適切に作業できているかどうか	○	○	○	6
2学期	食生活をつくる	現代の食生活をめぐる課題と、食生活と環境問題について考える。	昔からの食生活の文化や実態をきちんと理解できているか	○	○	○	4
	栄養と食品	生命を維持するうえで必要な栄養素の働きを理解する。	栄養素の役割と働きがきちんと理解できているか	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	食生活をﾃﾞｻﾞｲﾝする	・何をどのくらい摂ればいいか考え、献立をたてる。 ・調理実習を通して、調理の技術を習得する。	調理の基本がきちんとできているか、また実習のレポートが提出されているか	○	○	○	6
3学期	子どもとかかわる	子どもの発達と、次世代を育てることの大切さについて理解する。	少子化の実態や子供の成長の過程を理解できているか	○	○	○	4
	高齢者とかかわる	高齢期の生き方を高齢者から学び、考える。	高齢化の実態と高齢者の機能の低下が理解できているか	○	○	○	4
	消費行動を考える	契約と消費行動、問題商法などについて学ぶ。	18歳成人に備えて契約や消費についてきちんと理解できているか	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計 41